

岸佛光堂 (岡山)

「早くから表示の重要性を認識」

岸佛光堂は岡山県内に四店舗(岡山店・ニュースタイル仏壇・倉敷店・津山店)展開、全店で仏壇公正規約に基づいた仏壇の原産国表示、材質等の品質表示を行っている。

今回、取材に御協力頂いたのは同社代表取締役の岸卓志氏、本店の岡山店においてご説明を頂いた。「以前から詳しい表示を行っていましたが、仏壇公正競争規約に基づいた表示を新たに作成しました」と岸氏は話す。表示の制作については、岸社長をはじめ、社内スタッフが行っている。展示されている仏壇にはそれぞれ仏壇公正規約

に基づいた表示を配置、表示はがっちりした木製のフレームにはめられ、思わず手にとって確認したくなる質感である。同店では自社オリジナル仏壇も製作しており、そのジャンルについてはさらに大きな表示(A4サイズ)を配置し、商品の魅力をPR。都市型仏壇の表示は伝統型仏壇よりシンプルで小さなサイズの表示を配置。同コーナーには手元供養や都市型仏壇も展示され、豊富な機種を揃えている。

同店では仏壇公正競争規約の店頭ステッカーをはじめ、詳しい内容の紹介を店内各所(エレベーター内等)に配置し、P

Rに努めている。内容は五種類あり、▽仏壇公正競争規約・仏壇公正取引協議会の紹介 ▽原産国、材質などの品質表示の説明 ▽規約に基づいた材質表記 ▽日本製、海外製の違い、仏壇の主な原産国、日本での主な生産地 ▽厚板貼り、薄板貼り、プリントの構造等、イラスト入りでわかりやすい内容である。「表示と併行してスタッフの一人ひとりの努力で、仏壇公正競争規約の認知を広めていきたい」と岸氏は話す。



店頭には会員証書を配置(岸佛光堂)